

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		第4回 川西市公共施設等総合管理計画審議会		
事務局(担当課)		資産マネジメント部施設マネジメント課		
開 催 日 時		令和 6 年 11 月 25 日(月)午前 10 時		
開 催 場 所		川西市役所 4 階庁議室		
出 席 者	委 員	岡田 忠純 委員、仲 義弘 委員、細井 雅代 委員 森 裕之 委員、若本 和仁 委員		
	そ の 他			
	事 務 局	篠崎資産マネジメント部長、志波副部長、松下施設マネジメント課長、岡元課長補佐、羽尻、大都		
傍聴の可否		可	傍 聴 者 数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		次ページに掲載		
会 議 結 果		審議経過のとおり		

川西市公共施設等総合管理計画審議会（第４回）会議次第

日時：令和６年１１月２５日（月）

午前１０時００分～

場所：川西市役所４階 庁議室

１ 開会

２ 議事

(1) 答申（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料１】

(2) その他

３ 閉会

（配布資料）

【資料１】答申（案）

【その他】会議次第／委員名簿

審 議 経 過

事務局	1 開会 過半数の委員が出席しているため、審議会が成立している旨を宣言し、開会。 2 議事 (1) - 1 答申(案)について(第1章～第4章(1～20ページ)まで) (資料1に基づき説明)
委員	7ページの公共施設の維持管理経費の人件費について、例えば市役所なら皆さんの給料が全部入っている？それとも、施設を維持するために必要な人件費という意味？どちらの意味なのか注釈を入れたほうがいいと思う。
事務局	基本的に施設を維持管理するための人件費なので、市役所でいうと我々の人件費は入ってない。市役所の維持管理業務に携わる職員の人件費が入っている。
会長	業務に関わっている市役所職員の人件費は時間で計算をしていない？
事務局	職員の平均給与で計算している。
委員	大規模改修や長寿命化改修更新の言葉の定義が75ページに書かれているが、12ページの試算のところにも書いたほうがいい。例えば、更新費は今と同じ機能で建て替える場合の金額といった書き方になっているが、実際そうではないはず。60年前の建設当時の機能を維持したまま建て替えることはないはずなので、書き方を工夫したほうがいい。
事務局	30年前、60年前のレベルで改修や更新をするわけではない。これが建て替え時点での水準だろうというレベルの改修や更新をするという考え。12ページのところに注釈を入れて補足する。
委員	17ページの3-4で「公共施設の機能」と書かれているが、「機能」という言葉は使わないほうがいいと思う。例えば、「公共施設が提供するサービス」とかがよい。「機能」というといろんなレベルがあり、何を指しているのかが分かりにくい。あとは、この機能が大切だという言い方をすると、思考停止に陥りがちなので、表現を慎重に考えたほうがいい。 後のページで似た機能の集約について書かれているが、例えば会議室だとかなり部分的な話になる。大きな施設の話とパーツの話があると、整理しづらくなると思った。
会長	例えば、公共施設の「役割」といった言葉になると、他の文書との関係で不都合は

	あるか？
事務局	「機能」という言葉は存続させる形で調整したい。この計画の中で「機能集約」という言葉が登場する。ここでいう機能とは、ハコとは別もので、行政サービスをするということ。部屋の目的などと混同される可能性があるので、注釈や前段の表現の付け加えを検討したい。 (1)－2 答申(案)について(第5章～第8章(21～93ページ)まで) (資料1に基づき説明)
委員	25ページの1次評価のイメージの図について、X軸とY軸を真ん中に置いて1～4象限に分け、原点を真ん中に持っていったほうがいいと思う。ハード面の劣化状況が高いのに、性能が良いような書き方になっていて分かりにくい。例えば、ハード面だと左に劣化状況、右に施設性能にした方が分かりやすいと思う。 同じく25ページのハード面の④廃止の2つめに「原則貸付・売却」と書かれているが、29ページの集約化(統合)のところは「原則売却」と書かれている。表現を揃えた方がよい。 36ページの目標のパーセンテージについて、何年間で目標達成するのかが分かるように記載したほうがいいと思う。全体を読めば分かるが、目標値だけぱっと見たら、1年でやるようなイメージを持たれるかもしれない。
会長	「原則貸付・売却」と「原則売却」では大きく違う。売却だと本当になくなるという印象が強い。跡地利用は大事なので、正しく伝わるようにして欲しい。 私から1点。29ページの再編のイメージに、複合化、多機能化、集約化の3つがある。30、31ページの複合化と集約化はいいが、多機能化が認定こども園化になっている。この説明では多機能化にしておいて、具体的にいうと認定こども園化という表現にした方がいいと思う。
事務局	おっしゃる通りだと思う。修正する。
委員	これまでの会議での意見を反映した良いものになっていると思う。27、28ページについて、例えば、地元譲渡が28ページの【廃止・見直しに関する方針】の一つのやり方にあたるのなら、施設としては存続するけれども、施設管理者を地元に移すやり方も選択肢としてあるかと思う。川西市よりもっと大きな自治体なら買う人がいるかもしれないが、川西市にとって売却が現実的かどうか。例えば集会所だと、施設を残しながらも地元の方々にお願いするという方法があると思う。現実的か検討した上で、可能なら項目を1つ増やすのはどうか。
事務局	21ページの5－1 参画と協働に関する方針の【多様な主体サービスの提供】の

	(5)で、地元譲渡について軽く触れている。重複する内容ではあるが、28ページにも書くことも考えられると思う。
会長	確かに、他の自治体では廃止の手法はもう少し多く、5つぐらいはあるイメージ。その中に民間譲渡もある。これまでの会議の流れから考えても、多様な選択肢があることを示したほうがいいと思う。 29ページの「原則売却」については、「等」をつける？
事務局	28ページの項目については、増やす方向で調整したい。 29ページの「原則売却」について、集約化の手法の選択肢が増えることは非常に望ましいことであり、実際あらゆる選択肢を考慮しながら施設の方向性について検討していく。しかし、基本的には売却、貸付がメインだと考えている。ただし、従来から地元で活用している施設については、引き続き活用していただくということもある。一言で表すと「原則貸付・売却等」となり、この「等」の中に他の選択肢を包含するような解釈をしている。
会長	例えば廃校だと、残して欲しいという意見が出て、子どもがいない。結局地元の力がある。人だけではなくお金がかかる。行政としては、建物をずっと抱えていると単にコストがかかるだけなので、やはり売却へ向かっていくことになる。地元譲渡は、言うのは簡単だが、市民側の維持管理する力が必要。管理者もいないし、何に使われるか分からない中で、建物が朽ちていくとなると、それは問題が起こる。
委員	認定こども園化は、単純に機能を2つそこに置けばいいというものではない。サービスの形が変わったから、今までのものを集約することでサービスはむしろ向上するイメージを持ったほうがいいという意味で、機能という言葉は少し古い気がした。 24ページ以降の総合評価について。この3つの評価をした結果、施設別に廃止するかどうか考えると思っていたが、すでに第6章に施設の方向性が書かれている。3つの評価はすでに第6章に適用済みという認識でよいか。
事務局	策定当初は詳細に1次評価、2次評価を行った。例えばハードであれば、耐震状況や、老朽化の進行状況を調査しながら策定した。基本的にこの1次2次評価は、大きくは変わらない。3次評価のところで、今後の市の施策を含めて、最終的に施設をどうしていくかを考えて進める。3次評価で第6章の方向性を出していく流れになる。
委員	1次、2次評価を踏まえて作成したというように、繋がりがどうなってるか明記したほうがいいと思う。
事務局	繋がりが分かるような形で、言葉等記載したいと思う。

会長	認定こども園化は、幼稚園と保育園を一緒にしただけではなく、質の違うサービスを提供している。これが、多機能化という言葉の意味合いにそぐわないのではないかという話だった。 多機能化というのは、新しいサービスができている意味合いを含む。だからこそ、私はこのままでいいと思った。単純に1+1ではなく、融合したイメージ。31 ページの多機能化の例として認定こども園化が出ているが、ここは整合してると思う。ただ、29 ページの多機能化の説明が認定こども園とは合わない気がする。しかし、基本的には多機能化するというのは違うものに変化することを踏まえての理念だと思うので、これはこれでいいと思う。
事務局	多機能化というのは、2つのものを1つに合わせて、より良いサービスを作るという要素が含まれてると理解している。例えば認定こども園の場合、幼稚園と保育所を複合化したとなると、1 階部分が幼稚園、2 階部分が保育所で交わりがなく、サービス等がなにも向上しないイメージ。認定こども園はサービスを向上させる意味もあるので、やはり多機能化に分類されるものかと考えている。機能を2つ合わせてサービスを向上させたという要素について記載がないので、どういう形で入れるか最終決定をしたい。
会長	認定こども園はどこに分類されるのか難しい。29 ページの内容だと、多機能化は一般に当てはまるような書き方になっているが、31 ページでは認定こども園の説明しかないので整合しないところがある。多機能化は、質的に変わるという意味合いが強い。複合化にも同じ意味合いはあるが、それがメインではない。どこまでが多機能化なのかという基準はどこかで設けないといけない。今回は、さっきの事務局の説明通りでいいと思う。
委員	単に縮減してるのではなくて、より良いものが提供できるというポジティブな面も出したほうがいいと思う。消防も集約化されているが、消防設備の運用がよくなるなど、高機能化してると思っている。そういうイメージもある中での再編だという表現が欲しい。
会長	複合化でも、機能向上は必ずある。施設の再編の分類だと機能向上については書きにくいと思うが、伝わるような書き方をしてくださいという意見だと思う。これまでの議論でずっと一貫してきた意見だった。
委員	33 ページの削減シミュレーションの6.子育て支援施設は、15%増と書かれている。一方、主な内容な年少人口減少に基づく縮減と書かれている。年少人口減少だから、本来マイナスであるはずだが、これだと間違えていると思われてしまう。増加した理由がはっきりあるのならそれも書くべきかと思う。

事務局	計画策定時はこども園が1つしかなかったが、現在は4つある。現時点で増えており、新規施設は計画期間中に更新時期が来ないので、年少人口に基づく減少ができない。年少人口に基づいて減らしたいが、更新時期が来ない施設が何ヶ所もあり、それらは100%維持されてしまうので、結果的に増えてしまっている。 56ページの表の中の一つ右の欄で、年少人口と書かれているところや、廃止と書かれてるところについては、例えば年少人口であれば、その年少人口の削減率に基づいた面積を掛けて減らしていく。再編整備されているところは、当初から面積が増えているので、年少人口が減少しても、結果として33ページの削減シミュレーションは15%増という結果になっている。
委員	計画年度以降の更新であることを書いた方が良い。
委員	11.市立病院に関しても、廃止と書いているが増えている。プラスの部分に関しては、主要内容に説明を記載したほう良い。
会長	32ページの5－8 未利用財産の有効活用に関する方針は、地元譲渡とかに関係してくるところかと思うが、あっさりした印象。これでもいいかと思うが、先ほどの話だと、地元譲渡について丁寧に書くということだったのでどうかなと思った。
事務局	このままでいくか、付け加えるかを検討する。
委員	全体通して、これまでの会議での意見を反映してくれていると思う。市民へのサービスを低下させないこと、丁寧な説明をすることについて、いろんな角度から考えている資料だと感じた。施設をなくすのはなかなかしんどい部分で、それがどういう形で市民にプラスで反映されるところがあるのか、資料で分かってきた。例えば、16ページの3－1. 市民等の参画にあるように、市から与えるだけではなく、市民の方にも入ってもらって考えていくという内容がより詳しくなっている。認定こども園ができたことで、地域の子どもが生き生きと小学校へ繋がり、小学校から中学校へ繋がるという流れが見えてきたと感じている。そういう繋がりが、これからの川西市を育ていく重要なポイントだと思う。写真があるだけでかなり変わったかなという印象。 31ページの認定こども園に川西北こども園が抜けているので付け加えておいて欲しい。学校のあり方基本方針や、公民館の在り方との連携をしながら進めていくのが1つだと感じた。全体を通してグラフが見えにくいので、クリアにして欲しい。
事務局	31ページに川西北こども園を追加し、グラフが見えやすいようにする。
会長	今の発言で、大きく2点あったと思う。1点は、計画を一度見直す中で、サービスを向上させるということをより強く押し出す。会議でずっと議論があったが、住民の合意をどう得るか考える必要がある。

	もう1点は、多機能化でサービスがよくなるだけではなく、例えば認定こども園ができることによって小学校や中学校を通じた発展があると思った。答申の中でどこまで書けるかというのはあるかと思うが、そういうのが滲み出てくるといいと思う。施設として別のものであっても、お互いがシナジーを起こすことはある。もっと言うと、施設同士だけではなく地元の商店街が活性化するとかもある。そういったことを考えながら公共施設の再編整備を行うのはすごく大切だと思った。
委員	第6章の削減指標・方向性の「再編整備」の意味がよく分からない。あと、67ページの市立総合医療センターは「削減検討」となっているが、建てたばかりなのに削減するのかと感じた。41ページの消防本部・南消防署も同様。どのように見たらいいのか。
事務局	試算するときにまず建築年度を見る。計画期間内に建て替え時期が来たら、そのときに全体人口などに基づいて面積を減らすという考え方。市立総合医療センターの場合、新しくなったばかりで計画期間中には建て替えないので、期間中は現状維持。ただ、今後の人口減少に伴って見直しするのは当然の流れとなる。維持というよりは、今後将来を見据えて削減も検討していくという意味合いで書いている。ここは事務局内でもどう書いたらいいかという議論があったので、意見があればいただきたい。もともとは現状維持と書いていたが、現状維持と書くと何もしないのかという見え方になってしまうと思い、表現を変えた。
委員	消防本部と書かれているので、ここは市役所と同じように「全体人口」というのが入るか。計画年度中の話であれば、27ページの5-4に書かれてる「継続」になる？消防の格納庫は全て削減検討と書いているが、実際はそこまでやらないのでは。
事務局	格納庫はかなり古いところもあり、今後建て替えが必要となってくる。そのときには集約をしていきたいという思いはあるが、それが前に進むかどうかはまだまだ分からない。
会長	「継続」だと、残してくれるという印象。施設の種類によっても違いはあると思う。あえて曖昧に、「将来検討」にする？
事務局	例えば、47ページの社会教育系施設の文化財に関しては「削減対象外」としている。これは、今後積極的に残していくという意味合い。これに対する言葉として「削減検討」としていた。必ず残すものについては「削減対象外」、そうでないものについてはこの計画全体の方針として20%削減を目指す中で、「削減検討」としている。これに代わる良い言葉が事務局で思いつかなかったもので、意見をいただきたい。
会長	削減と廃止を違う意味で使っている。なくなるという意味ではないが、削減という

	言葉の与える印象が強い。市立医療センターの削減検討は、施設を小さくすることを検討するという意味で合ってるか？
事務局	その意味で合っている。
委員	「適正化」という書き方は？
会長	「適正化」で良いと思う。今後減らしていく方向だというのが分かる。適正化・廃止・削減対象外の3つで良いと思う。事務局側で不都合はある？
事務局	「適正化」でいいのではと思うが、事務局内で改めて考えたい。
委員	46 ページの学校教育系施設の（3）今後の主な取組方針で、量の適正化という表現が使われている。この内容と、削減指標・方向性の内容は対応させるか。
事務局	学校施設は現状児童生徒数に見合っていない。大きな施設と生徒数が一致しない。この適正化を進めていくということは一定方針としてある。それ以外のものに関しては、「適正化検討」という言い方をすれば、将来的なことも含めてこれから考えていくというニュアンスになるのかなと思った。適正化だけで言うと削減ありきという見方になる。「適正化検討」というワードについて提案する。
会長	ニュアンスは分かるが、慣れない日本語だと思った。意図は賛成する。「適正化検討」だと残してくれるニュアンスが強くなる。 市としてどうしても減らしていきたいというのであればもう「適正化」のほうがいいと思うし、結果として残るかもしれないが住民との話し合いが大事だという話の場合は「適正化検討」になるかと思う。
委員	どちらにしても、施設の現状や取組方針のところに、ニュアンスを書いておいて欲しい。
会長	伝わるように書いた方が、市民等との丁寧な対話っていう話と整合する。再度事務局で検討して欲しい。
事務局	委員の皆さんの話を伺っている中で、「適正化」と言い切ってしまう方が計画の意図に合うと感じた。「適正化検討」だと施設が残るかなという期待感が生まれてくるため、計画の意図とは合わない。「適正化」という方向性で整理をしていき、特に支障がないかどうか検証の上、次の審議会で提案する。
委員	削減指標・方向性と書かれているが、削減指標しか書かれていない。全体人口は削

	減指標であり、方向性が書かれていない。この削減指標は、第5章の評価とリンクしている？
事務局	第5章と直接リンクしているわけではない。削減指標・方向性というところで、年少人口によって削減していくのか、全体人口によって削減していくのかの区分を示したいという意図があり、事務局案としては削減指標・方向性というタイトルにしている。ここでも意見があればいただきたい。
委員	削減指標と書いてあるので、何か指標があってそれに応じて判断するという意味かなと思った。
事務局	イメージとしては、削減指標または方向性という認識でこの記載をしている。49ページを例に挙げると、全体人口というのは全体の人口の減少に合わせて施設を減らしていくという指標。廃止というのは方向性。これらが混在してるところがある。「または」という文言を入れる。
委員	全体人口と書いてあると、見た瞬間人口全体に関わるから何もしないという意味かと捉えてしまった。どこかに説明がいる。
委員	40ページに説明があるが、書かれていないこともある。
事務局	40ページで書き切れてない内容もあるので、補足・修正する。 (2) その他 今後のスケジュールの確認 第5回審議会 12月12日(木) 15時 市役所4階庁議室 3 閉会